

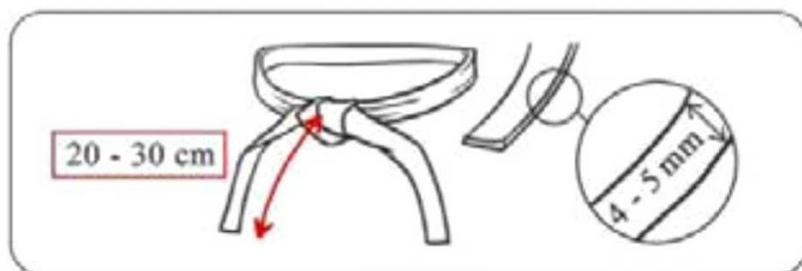
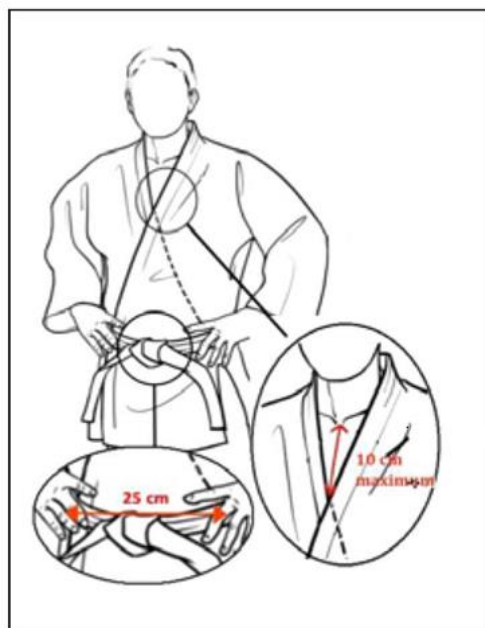
柔道衣コントロールについて

神奈川県高等学校柔道連盟柔道専門部主催大会における柔道衣コントロールについては、「全日本柔道連盟主催大会における柔道衣コントロールの運用について 2023年7月24日」準じる。詳細は下記のとおりである。

規定に満たない場合、試合する権利がなくなり、試合がまだ始まっていなかった場合には「不戦勝ち」または、試合がすでに始まっていた場合には「棄権勝ち」が相手に与えられる。

1. IDカードとゼッケン、柔道衣の色(紐)、帯の色が合っているかを確認する。
※帯は黒帯のみ(無段者の白帯を除く)とする。
2. 「柔道衣の氏名等の表示」に適合しているか、指定の広告・ゼッケンが正しく縫い付けられているか、破れ・血痕がないか、おおむね乾燥し不快なにおいがしないかを確認する。
3. 認証ラベルの確認する。
上衣・下穿き 「IJF ロゴ(赤)」又は「JU0000・JUB000の赤文字ラベル」を使用可とする。
帯 「IJF ロゴ(赤・青)」又は「JU0000の赤・黒のラベル」を使用可とする。
※認証ラベルの剥がれた柔道衣の着用は認めない。
※原則として、上衣・下穿きのメーカーは同一であること。

4. 上衣の大きさ・帯の長さを確認する。
 - (1) 測定器を用いて、胸骨の上部頂点から襟の交差部までの垂直直線距離が10cm以下であることを確認する。
 - (2) 帯が腰骨の位置で正しくきつく締められた状態であることを確認する。その後、測定器を用いて、上衣を前で重ねた際に2つの下襟の距離が水平に25cm以上であることを確認する。
 - (3) 測定器を用いて、帯が中央の結び目から端まで20~30cmに収まっているかを確認する。
 - (4) 袖の長さが腕を真っ直ぐに伸ばして掌で三角形を作った状態で、手首の骨(尺骨の頭)を含めて腕全体が覆われているかを確認する。覆われていない場合は、自分自身で柔道衣を伸ばし、一度だけ再測定ができる。
 - (5) 腕を真っ直ぐに伸ばして掌で三角形を作った状態で、測定器全体がスムーズに袖の中に滑り入るかを確認する。



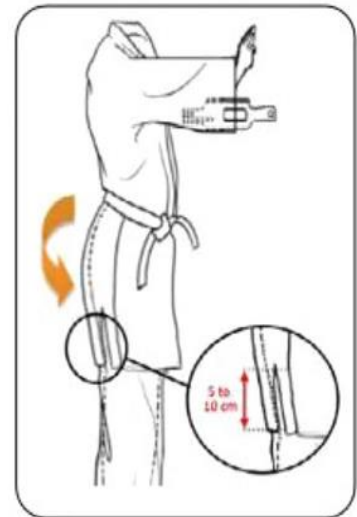
5. 上衣の前後が同等の長さでお尻を完璧に覆っており、各階級の規程に合っているかを目視にて確認する。

男女 73kg 級以下(-48・-52・-57・-63・-70・-60・-66・-73kg)

背中中の帯から 20cm 以上であるかを確認する。

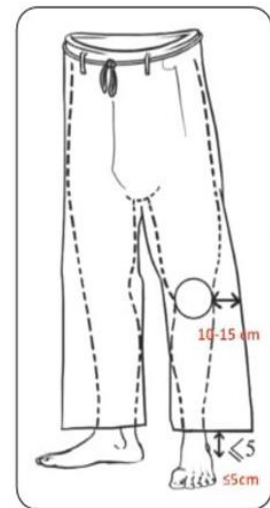
男女 73kg 級以上(-78・+78・-81・-90・-100・+100kg)

背中中の帯から 25cm 以上であるかを確認する。



6. 下穿きの大きさを確認する。

裾口からくるぶしの外側(足首)までの距離が 5cm またはそれ以下であるか、幅は膝の位置で 10~15cm に収まっているかを目視で確認する。満たないと判断した場合は、測定器を用いて確認する。



7. 女子選手のTシャツについては、次の通りとする。

- (1) 色は白(透けない)、半そで、丸首とする。
- (2) 製造業者マークは、最大 30 cm²のサイズであれば認められる。柔道衣を着用した際に、製造業者マークが見えてはならない。
- (3) 所属名称もしくは、所属を表すエンブレムを左胸に固定してつけることは認められる。大きさは最大 100 cm²とする。
- (4) いかなる商業的なマーキングもつけてはならない。

8. その他

- (1) 規程に満たない場合、短時間に着替えるよう命じなければならない。それでも満たない場合は出場を認めない。原則として、主催者は予備の柔道衣を準備しない。
- (2) 手足の爪は短く切っており、試合者の個人的衛生状態がよく保たれていること。
- (3) 長い髪は試合相手の迷惑にならないよう束ねてあること。
- (4) マウスピースの着装については、事前に審判員(試合場係員)へ申し出ることによって着装することができる。ただし、白もしくは透明なものに限る。
- (5) 下穿きの下に着けるスパッツ等の長さは、膝よりも短いことを原則とする。
- (6) 入れ墨については、事前に審判員(試合場係員)へ申し出たうえで、シャツやテープ等で隠すこととする。
- (7) 監督(指導者)の服装については、原則として審判員に準じたものとする。

9. 「柔道衣の氏名等の表示」(刺繍等)は全日本柔道連盟ホームページにて確認する。

10. ゼッケンについて

- (1) ゼッケンは参加校が準備する。
- (2) 氏名は姓のみとする。なお、同一姓の選手がいる場合は分かるようにする。
- (3) 男子は黒字、女子は赤字とする。
- (4) ゼッケンは強い糸で下記の図1のように-----の部分をしっかり縫い付ける。

図1

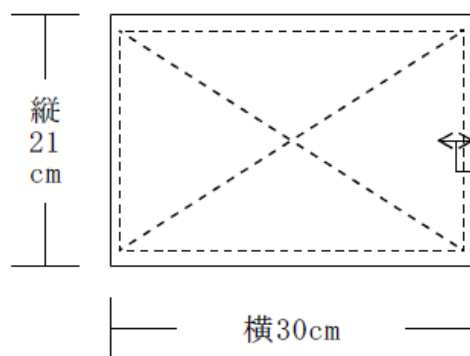
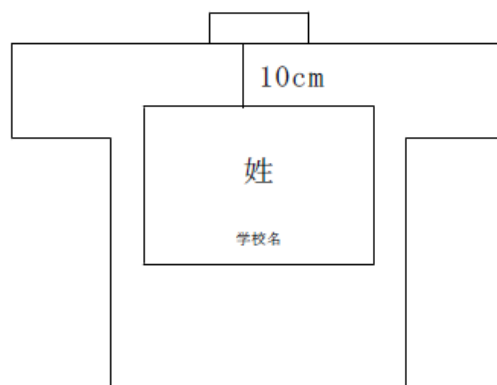


図2



11. 試合位置の赤白関係なくブルー柔道衣の着用を認める。ブルー柔道衣を着用した際も赤紐・白紐の標識紐を巻くこと。また柔道衣の上下の色は揃えること。